事業シート（令和9年度予算）

事業名	62160　観光推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部　観光課	内線	2217		項	2	観光費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ いとなみを育てる 観光と市民生活の共生を推進します
					目	1	観光振興費			施策分野	(5)	プロモーション・観光		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・観光を活用した持続可能な地域づくりを支える基盤強化や受入環境の充実を図る。	概要	・外国人受診支援サービス、公衆無線LAN、各種観光課題への対応など受入環境の整備を図る。 ・高山祭の案内、警備を実施する。 ・各種観光施策に活用するための観光動態の調査分析を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「観光客の来訪が、市民生活の向上につながっている」と感じている市民の割合	50.5%		↗
高山市への再来訪の意向	99.2%		98.0%
観光入込客数（年間）	479.5万人		－
観光入込客数（宿泊）（年間）	232.4万人		－
観光消費額（年間）	1,371億円		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		255,461	197,756	260,714			
特定財源	国費（　観光推進事業費　）	1,600	5,230	1,600			
	県費（　　）						
	その他（　入湯税、宿泊税、飛騨高山ふるさと基金繰入金、寄附金等　）	193,513	139,776	241,740			
一般財源		60,348	52,750	17,374			
新規・拡充	主な事業内容						
	職員海外派遣等	13,700	5,713	1,550			
	トップセールス等	4,100	1,731	2,400			
	各種協議会負担金	13,701	12,601	13,604			
	地域活性化起業人材受入	11,800	11,800	17,700			
	鉱泉源保護管理施設の整備等に対する助成	170,400	128,957	191,300			
	旅行者の安全安心対策	9,736	7,128				
	大阪・関西万博における情報発信	2,200	2,200				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	241,500 増減 (d)-(c)
262,092			1,378
			△ 1,600
192,000			△ 49,740
70,092			52,718
要求額	査定額		
8,500			
3,500			
13,422			
12,200			
191,300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・旅行者全体における観光入込客数は、過去最高値を更新（479万5千人） ・外国人観光入込客数（宿泊）も、過去最高値を更新（978,312人） ・職員戦略派遣の実施（JNTOパリ事務所：1名、JNTO東京本部：2名、観光庁：1名、中部国際空港：1名、飛騨・高山観光コンベンション協会：2名） ・海外トップセールス（フランス）の実施 ・地域活性化起業人の受入（2名） ・旅行者の安全安心対策の実施 ・鉱泉源保護管理施設の整備等に対する助成（8件） ・大阪・関西万博デジタルトラベルゾーンにおけるVR動画の放映等によるプロモーションの実施	
評価等	・観光を活用した持続可能な地域づくり方針に基づき、外国人観光客を含め、増加する観光客に対する災害時の行動計画の作成やバリアフリーモニターツアー調査、旅行者の電話相談窓口設置等を行うことで、受入環境の充実に繋がった。 ・令和7年10月からの宿泊税導入に伴い、入湯税の使途を見直し、鉱泉源保護管理施設の整備等に対する助成制度を創設・施行することで、当市を代表する観光資源の一つである「温泉」資源の保護・保全に寄与した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・観光を活用した持続可能な地域づくり方針に基づく市と観光地域づくり組織における役割分担の明確化を踏まえた事業内容の見直しを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	62170　誘客プロモーション推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部　観光課	内線	2217		項	2	観光費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ いとなみを育てる 観光と市民生活の共生を推進します
					目	1	観光振興費			施策分野	(5)	プロモーション・観光		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・観光を活用した持続可能な地域づくりを進める体制強化や、支所地域を含む一体的なプロモーションを推進する。	概要	・観光地域づくり組織の機能強化を図る。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「観光客の来訪が、市民生活の向上につながっている」と感じている市民の割合	50.5%		↗
高山市への再来訪の意向	99.2%		98.0%
観光入込客数（年間）	479.5万人		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		272,670	268,113	306,340			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（宿泊税、夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金）	116,125	106,000	291,765			
一般財源		156,545	162,113	14,575			
新規・拡充	主な事業内容						
	観光地域づくり組織によるプロモーションの推進等に対する助成	195,000	195,000	270,000			
	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	16,000	16,000	14,800			
	飛騨高山国際誘客協議会負担金	8,400	8,400	8,400			
	観光協会補助金	14,500	13,672				
	観光イベント開催支援補助金	22,750	21,361				
	市制施行90周年記念事業に要する経費			4,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	実施計画額 増減 (d)-(c)
			318,200
335,610			29,270
			△ 291,765
335,610			321,035

要求額	説明
305,000	
16,000	
8,400	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・観光を活用した持続可能な地域づくり方針に基づく市と観光地域づくり組織（DMO）との役割分担の明確化を踏まえた業務の移管を行い、必要となる経費を助成 ・飛騨高山観光客誘致推進協議会、飛騨高山国際誘客協議会における、官民一体となったプロモーションの実施 ・市内各観光協会の運営に対する助成（10団体） ・市内各観光協会や実行委員会等が実施するイベントに対する助成（7団体）	
評価等	・観光地域づくり組織（DMO）の体制強化や支所地域を含む一体的なプロモーションの推進に必要な経費を助成するとともに、各支所地域を含めた市全域の活性化を図るための弾力的な予算運用を可能とすることで、地域の稼ぐ力の底上げに繋がった ・関係団体の取り組みを支援することで、多様なニーズを踏まえた様々なイベントやプロモーションを実施することができた	
次年度以降の考え方（担当課）	・観光を活用した持続可能な地域づくり方針に基づく市と観光地域づくり組織における役割分担の明確化を踏まえた事業内容の見直しを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・観光地域づくり組織の体制強化や支所地域を含む一体的なプロモーションの推進に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	62200　観光施設運営事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	6	商工費
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部　観光課	内線	2209		項	2	観光費
					目	2	観光施設費

総合計画	重点戦略	方向性		
		ポイント		
	分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション
		施策分野	(5)	プロモーション・観光

根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅱ いとなみを育てる 観光と市民生活の共生を推進します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・観光施設を活用した観光振興を推進することで、にぎわいの創出を図る。	概要	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光施設を適切に管理運営する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「観光客の来訪が、市民生活の向上につながっている」と感じている市民の割合	50.5%		↗
高山市への再来訪の意向	99.2%		98.0%
観光入込客数（年間）	479.5万人		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		453,820	444,051	480,260			
特定財源	国費（　）						
	県費（新穂高温泉園地管理費 等）	274	274	274			
	その他（指定管理事業雑入、入湯税、地方債、飛騨高山ふるさと基金繰入金、寄附金等）	54,834	80,949	193,989			
一般財源		398,712	362,828	285,997			
新規・拡充	主な事業内容						
	観光施設の管理運営	301,240	291,748	281,660			
	施設整備	152,580	152,303	198,600			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 / 市長査定額	323,000 / 増減 (d)-(c)
346,490			△ 133,770
274			0
68,310			△ 125,679
277,906			△ 8,091
要求額	説明		
259,990			
86,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・観光施設16施設（うち指定管理施設15施設）の管理運営 ・桜香の湯エアコン更新等の観光施設の維持修繕等を実施	
評価等	・公共施設等総合管理計画に基づき、施設のあり方を検討した。 ・指定管理者制度により、民間活力を活用した施設運営やサービスの向上を図った。 ・施設の現状を踏まえつつ、老朽化した施設の計画的な修繕を実施した。 ・官民が連携した各種プロモーション施策の実施等により、利用者数は概ね増加傾向にある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・計画的に施設の修繕をすすめる。 ・公共施設等総合管理計画の方針に基づいた対応を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	62205　飛騨民俗村再整備事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	6	商工費
					項	2	観光費
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部　観光課	内線	2209		目	2	観光施設費

総合計画	重点戦略	方向性		
		ポイント		
	分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション
		施策分野	(5)	プロモーション・観光

根拠計画	産業振興計画、飛騨民俗村再整備構想、観光施設事業経営戦略
市長公約	Ⅱ いとなみを育てる 観光と市民生活の共生を推進します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・松倉・民俗村エリアの賑わい創出と活性化を図るとともに、市街地観光における周遊性を高める。	概要	・飛騨民俗村再整備構想に基づく飛騨民俗村及び周辺エリアの再整備

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
観光入込客数（年間）	479.5万人		－
飛騨の里の入館者数（年間）	22.4万人		35.0万人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		38,000	35,970	57,400			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　観光施設整備事業費　1/4　）	9,500	8,992				
	その他（　夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金、寄附金　）	26,540	26,540	43,000			
一般財源		1,960	438	14,400			
新規・拡充	主な事業内容						
	飛騨民俗村再整備構想に基づく整備	38,000	35,970	57,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	90,000
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
12,500			△ 44,900
			△ 43,000
12,500			△ 1,900

要求額	説明
12,500	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・飛騨民俗村再整備構想に基づき、県指定重要文化財の旧中薮家住宅修理工事を実施 ・令和7年度実績 飛騨の里入館者数　224,997人	
評価等	・飛騨地域の民俗文化や里の風景のなかで誰もが非日常を体験できるよう、施設等の改修・景観保全等の推進を図った。 ・官民が連携した各種プロモーション施策の実施により、昨年度に引き続き入場者数が増加した。 ・地域住民と指定管理者及び行政が連携し、飛騨民俗村再整備構想を推進するとともに、魅力ある施設として、更なる交流人口の増加を図る必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・飛騨民俗村再整備構想の推進を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	62220　観光案内所運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部　観光課	内線	2209		項	2	観光費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ いとなみを育てる 観光と市民生活の共生を推進します
					目	2	観光施設費			施策分野	(5)	プロモーション・観光		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・観光客への適切な情報提供と案内を行うとともに、心のこもったおもてなしによる対応により、滞在の満足度を高める。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター（奥飛騨温泉郷観光案内所）の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「観光客の来訪が、市民生活の向上につながっている」と感じている市民の割合	50.5%		↗
高山市への再来訪の意向	99.2%		98.0%
観光入込客数（年間）	479.5万人		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		9,930	9,267	9,010			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（敷地占用料、事務所等使用雑入、入湯税　　）	550	639	620			
一般財源		9,380	8,628	8,390			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
	観光案内所の管理運営	5,990	5,449	5,190			
	まちかど観光案内所の設置・運営	3,940	3,818	3,820			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	0 増減 (d)-(c)
27,090			18,080
620			0
26,470			18,080

新規・拡充	主な事業内容	要求額	説明
	観光案内所の管理運営	27,090	飛騨高山観光案内所を指定管理に移行
	まちかど観光案内所の設置・運営		令和8年度で廃止

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・直営による飛騨高山観光案内所、新穂高センター（奥飛騨温泉郷観光案内所）の管理運営 ・古い町並エリア内まちかど観光案内所の設置・運営 ・令和7年度実績 飛騨高山観光案内所利用者数　88,752人 新穂高センター（奥飛騨温泉郷観光案内所）利用者数　12,535人	
評価等	・外国人宿泊者数が過去最高を記録する中、交通結節点に位置する飛騨高山観光案内所は、情報発信の起点としての役割を果たしている。 ・中部山岳国立公園への山岳観光の玄関口に位置する奥飛騨温泉郷観光案内所は、情報発信の起点としての役割を果たしている。	
次年度以降の考え方（担当課）	・観光地域づくり組織や他の観光案内所との連携を図り、情報発信の質の向上や、広域観光案内の実現を図る。 ・利用者のニーズを踏まえた観光案内を行うとともに、国内外を問わず、案内窓口の拠点として、利用者の再訪に繋がる満足度の高い施設運営を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	